

マングローブにある不思議な山



A

オキナワアナ
ジャコの巣

B

ノコギリ
ガザミの巣

C

ミナミコメツキ
ガコの巣

ヒント：マングローブの不思議な山は、シャコ塚と呼ばれています。

マングローブの中をみわたすと、ときおり火山のようなかたちの小山を見かけることがあります。これをシャコ塚と呼んでいます。じつはオキナワアナジャコの巣の一部なのです。オキナワアナジャコは、マングローブの土の中に、2mほどの穴を掘って暮らしていますが、掘った土を積み上げて大きな塚を作ります。このおかげで、地中深くから有機物や鉄分などの養分が地表にもたらされ、土壌が活性化します。土の中のバクテリアなどが増えるため、これらをエサとしているカニや貝のなかまも繁殖しやすくなり、さらにこれらをエサとしている魚のなかま、そして水鳥のなかまもマングローブへやってきます。オキナワアナジャコの巣は、このようにマングローブの多様な生態系に必要な役割を果たしています。